



様式第1 (第40条関係)

令和元年度下期放射線管理等報告書

2020再放発第7号
令和2年5月14日

原子力規制委員会 殿

住所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付4番地108
名称及び代表者の氏名
日本原燃株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 増田 尚宏

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び核燃料物質又は核燃料物質によつて汚染された物の廃棄物管理の事業に関する規則第40条第1項の規定により次のとおり報告します。

事業所	名称	再処理事業所
	所在地	〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の濃度

①放射性物質の種類別の濃度の3月間についての平均値

(単位: Bq/cm³)

測定の箇所等		種類	前半の3月間 (10月~12月)			後半の3月間 (1月~3月)		
			放射性 Cs	放射性 Ru	放射性 Ar	放射性 Cs	放射性 Ru	放射性 Ar
排は視 気排設 口気備 又監	ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒の排気口		ND(注1)	ND(注2)	—	ND(注1)	ND(注2)	—
	ガラス固化体貯蔵建屋冷却空気出口シャフトの排気口		—	—	ND(注3)	—	—	ND(注3)
	ガラス固化体貯蔵建屋棟冷却空気出口シャフトの排気口		—	—	ND(注3)	—	—	ND(注3)
濃度管理目標値			9×10^{-7}	1×10^{-7}	—	9×10^{-7}	1×10^{-7}	—

なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。検出限界濃度は以下のとおり。

(注1) 検出限界濃度は、 4×10^{-9} (Bq/cm³) 以下である。

(注2) 検出限界濃度は、 1×10^{-8} (Bq/cm³) 以下である。

(注3) 検出限界濃度は、 1×10^{-4} (Bq/cm³) 以下である。

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

(単位: Bq/cm³)

測定の箇所		濃度	前半の3月間 (10月~12月)		後半の3月間 (1月~3月)	
			平均値	最高値	平均値	最高値
排は視 気排設 口気備 又監	ガラス固化体受入れ・貯蔵建屋換気筒の排気口	放射性セシウム	ND(注1)	ND(注1)	ND(注1)	ND(注1)
		放射性ルテニウム	ND(注2)	ND(注2)	ND(注2)	ND(注2)
	ガラス固化体貯蔵建屋冷却空気出口シャフトの排気口	放射性アルゴン	ND(注3)	ND(注3)	ND(注3)	ND(注3)
		放射性アルゴン	ND(注3)	ND(注3)	ND(注3)	ND(注3)

なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。検出限界濃度は以下のとおり。

(注1) 検出限界濃度は、 4×10^{-9} (Bq/cm³) 以下である。

(注2) 検出限界濃度は、 1×10^{-8} (Bq/cm³) 以下である。

(注3) 検出限界濃度は、 1×10^{-4} (Bq/cm³) 以下である。

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の濃度

①放射性物質の種類別の濃度の3月間についての平均値

*該当測定事項なし

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

*該当測定事項なし

(3) 液体状及び固体状の放射性廃棄物の保管量等

放射性廃棄物の種類 量	低レベル液体廃棄物 (m ³)	低レベル固体廃棄物	
		ドラム缶 (本)	その他 (本相当)
前年度末保管量	2.92 m ³	104 本	968 本相当
うち受入量	—	—	—
当該年度の発生量	0 m ³	0 本	132 本相当
うち受入量	—	—	—
当該年度の減少量	0.03 m ³	104 本	0 本相当
施設内減量	0.03 m ³	104 本	0 本相当
施設外減量	—	—	—
当該年度末保管量	2.89 m ³	0 本	1,100 本相当
うち受入量	—	—	—
保管設備容量	10 m ³	1,200 本相当	

(4) ガラス固化体の保管量等

(単位：本)

	高レベル放射性廃棄物 (ガラス固化体)
受入本数	0 本
受入累積本数	1,830 本
保管設備容量	2,880 本

2 放射線業務従事者の線量分布

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量 放射線 業務従事者	線 量 分 布 (人)				
	5mSv 以下	5mSv を超え 10mSv 以下	10mSv を超え 15mSv 以下	15mSv を超え 20mSv 以下	20mSv を超え 25mSv 以下
職 員	162	0	0	0	0
そ の 他	926	0	0	0	0
合 計	1,088	0	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線 量 分 布 (人)				
	25mSv を超え 30mSv 以下	30mSv を超え 35mSv 以下	35mSv を超え 40mSv 以下	40mSv を超え 45mSv 以下	45mSv を超え 50mSv 以下
職 員	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線 量 分 布 (人)		総 線 量 (人 ・ S v)	平 均 線 量 (m S v)	最 大 線 量 (m S v)
	50mSv を 超えるもの	合 計			
職 員	0	162	X	X	X
そ の 他	0	926	X	X	X
合 計	0	1,088	X	X	

(2) 女子（妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を廃棄物管理事業者に書面で申し出た者を除く。）の放射線業務従事者の3月間の線量分布

放射線 業務従事者		線量	線量分布（人）			
		1 mSv 以下	1 mSv を超え 2 mSv 以下	2 mSv を超え 5 mSv 以下	5 mSv を 超えるもの	合計
前半の3月間 (10月～12月)	職員	7	0	0	0	7
	その他	19	0	0	0	19
	合計	26	0	0	0	26
後半の3月間 (1月～3月)	職員	4	0	0	0	4
	その他	15	0	0	0	15
	合計	19	0	0	0	19

放射線 業務従事者		線量	総線量 (人・Sv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
		職員	X	X	X
前半の3月間 (10月～12月)	その他	X	X	X	X
	合計	X	X	X	
	職員	X	X	X	X
後半の3月間 (1月～3月)	その他	X	X	X	X
	合計	X	X	X	